

都医

Vol. 713

ニュース

NEWS

発行所 ■ 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL. 03-3294-8821 (代) 定価 ■ 1部 77円

所信表明	01
東京都医師会 第304回 (定時) 代議員会 ほか	02
新役員職務分担、代議員会議長・副議長	03
底流／地区医師会長連絡協議会報告 ほか	04
みどりの広場 ほか	05
ふれあいポスト	06
感染症豆知識 ほか	07
地区医師会長からの一言	08



(前列左より) 日名子監事、指田副議長、落合理事、土谷副会長、尾崎会長、平川副会長、川上副会長、窪田議長、蓮沼監事 (中央左より) 大坪理事、水野理事、弘瀬理事、鳥居理事、小林理事、西田理事、佐々木理事、市川理事 (後列左より) 首里理事、宮崎理事、小平理事、増田理事、荘司理事、土屋理事

尾崎会長 所信表明

東京都医師会 会長就任にあたり



東京都医師会 会長 尾崎治夫

環境の抜本的見直し(体育館の雑魚寝からの訣別)。獣医師会と共に進めるワンヘルス。

3 医療費削減政策ではない、都民の自立を促すセルフケア、セルフメディケーションの推進

健康・検診の受診啓発による疾患の早期発見と予防医療を強化。都民一人ひとりが自分の体の状態を把握し、リテラシーを身につけながら、必要な予防や軽度な体の不調に自分で対応できるよう都医としてサポート。持続可能な皆保険制度のあり方についても共に考えていく。

4 民間病院支援の継続、東京総合医療ネットワークのさらなる推進と病院・診療所の電子カルテ化の推進

かかりつけ医機能を発揮するために、病院・診療所のネットワーク化による患者情報の共有が必須。

5 少子化の中で、しっかり女性と子どもの安心安全を守る

多職種連携による母子のメンタルヘルスサポートの推進。若い女性を子宮頸がんから守るため、HPVワクチンを積極的勧奨。子どもの将来を守るための必要なワクチン

接種と、将来の自分を守るためのリテラシーを身につける健康教育のより一層の充実と推進。

6 ウェルビーイングを重視した高齢者医療のあり方の再検討

6月15日(日)に開催された第304回(定時)代議員会において、会長職を拝命し、第6次チーム尾崎の全員が選任され、2年間の舵取りを任せていただくことが決まりました。

重点医療政策

今期、以下の7つの重点医療政策を掲げています。

1 地域包括ケアネットワークの充実と推進

24時間在宅医療強化事業を継続。2次救急病院を守り、高齢者救急、特に軽症例への対応を検討。孤独死を防ぐ積極的な対応に取り組む。

2 災害、パンデミックへの備え

東京都との連携を継続し、臨時医療施設等の整備と研修体制の確立を目指す。避難所

超高齢社会の入り口とされる2025年も半ばが過ぎようとしている中、近未来における東京の医療のさまざまな課題解決に向け、7つの重点医療政策を掲げて、医療・介護体制を支えていこうと考えています。

長い間、苦業を共にしてきた日々澤理事、新井理事、そして4年間お世話になりました齋藤・稲葉両監事の4名の先生方が勇退されました。新たに、宮崎国久(北区医師会)、土屋淳郎(豊島区医師会)、首里京子(港区医師会)の3

東京都医師会 第304回(定時)代議員会

6月15日(日)、東京都医師会館において第304回(定時)代議員会が開催された。まず慣例により仮議長として世田谷区医師会の伊藤邦成氏が指名され、更に仮議長から会議録署名人に玉川医師会の池上晴彦氏、荏原医師会の木内茂之氏が指名された。

挨拶

尾崎治夫会長は、5期目・2年間の任期を終えるにあたり、地区医師会、大学医師会、

都立病院医師会の協力に対し、深い感謝の意を述べた。新型コロナウイルス感染症については、中国・香港・台湾・タイなどで依然として多数の感染者が報告され、ワクチン未接種者の死亡例も確認されているなど、世界的にはまだ終息していないと指摘し、引き続き重症化リスクの高い方々を守る必要があると強調した。コロナ禍の記録を

まとめ『1200日の闘い』定数と同数の立候補により、議長に世田谷区医師会の窪田美幸氏、副議長に西東京市医師会の指田純氏が選出された。

正副議長選挙

また、目々澤肇理事、新井悟理事、齋藤寛和監事、稲葉貴子監事4名の役員退任を報告し、感謝の意が伝えられた。

⑤長期にわたるコロナ禍を振り返り、その闘いの記録を都民に分かりやすく伝えることを目的に『1200日の闘い』を発行したなど、特筆すべき事業の報告が行われた。

報告

令和6年度東京都医師会庶務及び事業報告

令和6年12月1日現在の会員数は2万1545名(前年比39.9名増)。各事業について報告された。①TMA医療会議では、医療提供体制の諸問題と解決策について議論し、成果物の作成を進めた。②公衆衛生に関する事業では、禁煙推進企業コンソーシアムと共催で2024年世界禁煙デーイベントを東京都医師会館で開催した。③地域医療に関する事業では、地域医療構想調整会議で2025年に向けた対応方針や地域医療連携について意見交換を行った。災害対応については、能登半島地震の際に、東京都医師会からは現地に東京JMA

議事

第1号議案 令和6年度東京都医師会決算に関する件

主な予算差異として、救急患者の早期地域移行支援事業の委託料・委託費が予算を下回ったことがあげられるが、公益事業目的会計の経常費用計は法人全体の経常費用の91.6%等、公益社団法人に求められる財務三基準の要件を充足していることが報告され、決算は賛成過半数で決議された。

病院長等については物価高等の影響でますます厳し

第2号議案 令和8年度東京都医師会会費賦課徴収に関する件

会費賦課額は年額でA会員8万8800円、B会員(31歳以上)3万4200円、(30歳以下)1万8000円、大学正会員1万2000円、大学特別会員6000円とする。④令和6年6月1日施行の診療報酬改定に關し、診療報酬改定講習会を3回開催。複雑な算定要件や施設基準を整理し、分かりやすい情報提供を実施。実践的な手引き「開業医のための保険診療の要点」を発行した。⑤長期にわたるコロナ禍を振り返り、その闘いの記録を都民に分かりやすく伝えることを目的に『1200日の闘い』を発行したなど、特筆すべき事業の報告が行われた。

第3号議案 東京都医師会役員等の選任に関する件

候補者数が定数と同数であったため投票は行われず、賛成過半数で後掲のとおり選任された。



役員選任後、尾崎会長からは6期目にあたり、激変が予想される近未来の東京の医療・介護を守るため「7つの柱」をもとに対策を進めていきたいと挨拶があり、新役員の紹介の後に閉会となった。

第304回(定時)代議員会役員等選挙結果

(※は新任)

代議員会議長

窪田 美幸(世田谷区)

代議員会副議長

指田 純(西東京市)

会長

尾崎 治夫(東久留米市)

副会長

平川 博之(八王子市)

土谷 明男(江戸川区)

川上 一恵(渋谷区)

理事(定款第32条第6項による)

落合 和彦(慈恵)

監事

小林 弘幸(順天堂大学)

鳥居 明(世田谷区)

西田 伸一(調布市)

弘瀬知江子(大森)

佐々木 聡(浅草)

水野 重樹(板橋区)

市川 菊乃(墨田区)

大坪由里子(世田谷区)

増田 幹生(北区)

小平 祐造(北区)

莊司 輝昭(立川市)

＊宮崎 国久(北区)

＊土屋 淳郎(豊島区)

＊首里 京子(港区)

監事

蓮沼 剛(日本橋)

＊日名子尚子(日野市)

医道審議委員

瀧澤 一樹(武蔵野市)

岡本 克郎(江東区)

熊谷みどり(文京区)

小路 良(品川区)

石川 辰雄(葛飾区)

南雲 晃彦(蒲田)

川村 益彦(町田市)

大辻 正高(日本橋)

天木 聡(板橋区)

＊高橋 由光(玉川)

＊溝口 雅康(中野区)

※数略

東京都医師会「医学研究賞」「グループ医学賞」募集

東京都医師会では「東京都医師会医学研究賞」「東京都医師会グループ医学賞」を設けております。令和7年度も募集を行いますので、所属の地区医師会へ要綱等をご確認のうえご応募ください。

■医学研究賞

表 彰：医学研究賞・若干名(助成費各100万円)、奨励賞・若干名(助成費各30万円)
＊研究賞以外の優秀な原著論文を発表した筆頭著者に対し奨励賞を贈る ＊臨床医学(社会医学を含む) 分野および基礎医学(臨床への貢献が期待されるもの) 分野の応募数を勘案して選出する

応募資格：東京都医師会会員であること。
＊令和2年度から令和6年度の本賞受賞者を除く

対象：臨床医学(社会医学を含む)、基礎医学(臨床への貢献が期待されるもの)の分野において優れた原著論文を発表した筆頭著者、またはequally contributed author(複数筆頭著者)。原著論文は令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)発行の学術雑誌に発表されたもの。
＊1人につき1論文とする ＊発表年月は冊子体のものを適用とするが、オンライン掲載のみ場合はこの限りではない ＊応募者は共著者の承諾を得ること ＊同一研究によるグループ医学賞との重複応募は不可とする

応募方法：候補者調書に原著論文一篇を添付のうえ、所属地区医師会経由で提出する。

■グループ医学賞

表 彰：1～2グループ(助成費各100万円)

応募資格：東京都医師会会員が所属するグループ。但し、代表者は本会会員であること。
＊令和2年度から令和6年度の本賞受賞グループを除く

対象：地域において臨床・社会医学の研究あるいは医療の実践に優れた業績をあげたグループ。
＊対象外 ①大学間のみでの共同研究 ②委託事業
＊同一研究による医学研究賞との重複応募は不可とする

応募方法：応募用紙にグループ研究・社会医学活動の内容を証明し得る資料を添付のうえ、代表者の所属地区医師会経由で提出する。

◎表彰式・執筆等

両賞受賞者には、表彰式において表彰するとともに、東京都医師会雑誌に受賞内容の概要をご執筆いただきます。

◎受付期間 令和7年9月1日(月)～9月30日(火)(東京都医師会必着)

◎お問い合わせ先 東京都医師会 広報学術課 TEL：03-3294-8821(代)

新役員職務分担、代議員会議長・副議長

東京都
医師会
役員

会長



尾崎 治夫

副会長



平川 博之

理事



土谷 明男



川上 一恵



落合 和彦



小林 弘幸



鳥居 明

理事



西田 伸一



弘瀬 知江子



佐々木 聡



水野 重樹



市川 菊乃



大坪 由里子



増田 幹生



小平 祐造

理事



荘司 輝昭



宮崎 国久



土屋 淳郎



首里 京子

監事



蓮沼 剛



日名子 尚子

代議員会 議長



窪田 美幸

代議員会 副議長



指田 純

		分野	職務内容	主担当
尾崎会長	平川副会長	総務	代議員会・総会、理事会、医道審議会、会長連絡協議会、各種団体、リハビリ病院、企画調整、日本医師会、地区医師会、その他医師会連絡、会館管理	水野理事
		人事企画	人事企画	水野理事
		経理	経理、税務、融資、医師年金	土屋理事
		出版・広報	マスコミ対応、都医雑誌・ニュース、都民公開講座、元気がいいね	水野理事
		産業保健・健康スポーツ	産業保健・産業医	水野理事
			健康スポーツ医	鳥居理事
		医療保険	医療保険、社保・国保審査、支払基金、国保連合会、自賠責、労災	荘司理事
		介護保険	介護保険	西田理事 佐々木理事
		医療介護福祉	地域福祉、高齢者保健福祉計画、地域包括ケア、在宅医療、認知症、多職種連携、訪問看護ステーション、老健施設	西田理事
	土谷副会長	地域医療	精神保健医療福祉	西田理事
		地域医療	地域医療、保健医療計画、地域医療構想、地域包括ケア	佐々木理事 増田理事
			監察医務、有床診療所	荘司理事
			医師会共同利用施設	佐々木理事
			医療関連職種	市川理事
			外国人医療	市川理事 大坪理事
			病院、リハビリ医療、地域医療構想、医師の働き方改革	小平理事
		医療情報	情報システム、調査研究、各種統計	土屋理事
		医療支援	医事紛争、医賠償保険、医療事故調査制度	小林理事
	川上副会長	救急・災害	救急、災害医療、休日夜間診療	小平理事 宮崎理事
			周産期救急	落合理事
			小児救急	首里理事
		疾病対策	感染症、予防接種、三・五者協、公害環境衛生、健（検）診事業、特定健診、母子保健	鳥居理事 大坪理事 首里理事
			タバコ対策	鳥居理事
			難病	西田理事
		学校保健	幼稚園医、保育園医、学校保健	弘瀬理事 市川理事 首里理事
		学術・教育	学術講演、倫理委員会、治験、勤務医、生涯教育、専門医制度、医学振興事業、次世代医師・女性医師・男女共同参画、医学生教育・啓発、医師臨床研修制度	落合理事 大坪理事
		医療支援	医療安全対策、精度管理、健康食品、患者相談窓口（診療情報提供）	小林理事
			医業経営、税制、医療法人、医療廃棄物、開業支援、エコ	増田理事
			母体保護	落合理事

(2025年6月15日現在)

底 流

高齢者の基準値を再考する

基準値の本質を見直し、「守れば安全、超えれば危険」は本当か、今後の有効な疾病対策の方向性を模索する。超高齢社会を迎え、高齢者の基準値を再考する。

基準値とはそれを守ることにより安全が確保される目安である。「安心、安全」は並な意味はさまざまであることと称されるが、「安心」は主観的な感情で、「安全」は客観的・科学的に定められると考えられている。広辞苑によると「安全」とは安らかで危険のないこと、物事が損傷したり、危害を受けたりする恐れのないことと記されている。基準値には4つの特徴がある。第1は従来からの科学的手法では決められないこと、第2は決められた数字を使いまわしてしまうこと、第

3は一度決まるとなかなか変更されないこと、第4は法的な意味はさまざまであることの4点が上げられている。

2008年から始まった「特定健診」いわゆる「メタボ健診」では、生活習慣病の予防に役立てるためとして「メタボリックシンドローム」の診断基準が適用された。まず「腹囲」を測定し、男性が85cm以上、女性が90cm以上の場合で、糖尿病（空腹時血糖110mg/dl以上）、脂質異常症（中性脂肪150mg/dl以上、HDLコレステロール40mg/dl未満）、高血圧症（収縮期血圧130mmHg以上、拡張期血圧85mmHg以上）の3項目のうち、2項目以上を満たす場合、メタボリックシンドロームと診断される。

一方、肥満の定義は体重（Kg）/身長（m）の二乗すなわちBMI（body mass index）で表される。皮下脂肪が沈着する皮下脂肪型肥満と内臓脂肪が沈着する内臓脂肪型肥満では、内臓脂肪型肥満の方がよりリスクが高いといわれている。内臓脂肪面積が100cm²以上の人に有意に疾患数の増加が認められたため、これに相当する腹囲が計算され、メタボリックシンドロームの基準値の根拠となった。肥満であっても必ずしも内臓脂肪が多いわけではなく、CTの解析等からBMIよりも腹囲の方がより内臓脂肪面積との相関は高いことが知られている。しかし、その後の解析からやや肥満気味の人の方が、痩せた人よりもむしろ長寿であるとの統計データが多数存在する。腹囲と内臓脂肪面積には相関はあるが、ばらつきも大きい。

高齢者の生活習慣病指導、とくに75歳以上の後期高齢者の生活指導においては、基準値を守るだけでなく、生活の質への配慮も必要である。更に過度の食事制限が筋肉量の減少を招き、フレイルやロコモティブシンドロームへの誘因にならないように、高齢者の特性を理解して基準値を扱うことが重要である。今後は高齢者の特性を配慮した、高齢者に対する独自の基準値の策定を模索するとともに、フレイルや認知症の早期診断が可能なる症状のスコア化あるいはバイオマーカーの開発が急務であると考えられる。（島居明）

公益社団法人東京都医師会・禁煙推進企業コンソーシアム共催
2025年世界禁煙デーイベント

5月31日（土）、東京都医師会館において、標記イベントがハイブリッド形式にて開催された。尾崎治夫会長は開会挨拶で、コロナ禍による禁煙補助薬の供給停止や一部店舗での喫煙助長により、喫煙環境が再び拡大傾向にあることに触れ、「紙巻きタバコから加熱式タバコに替えて喫煙者が多くなっている。禁煙活動は停滞状態にあり、改めて禁煙を推進しなければならぬ」と述べた。

第1部では「世の中を一歩健康に」「私が出来る健康&禁煙推進宣言」と題して、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会、東京都看護教諭研究会の代表から各団体が考える宣言と取り組みが紹介された。続いて、（株）龍角散の藤井隆太代表取締役社長が「会員企業経営者の宣言」と題して登壇した。スベシャルゲストの小池百合子東京都知事は、年々減少傾向にある都民の喫煙率も、飲食店における受動喫煙機会も、より減らせるよう手を緩めず、今後はこれに加え、外国人への喫煙ルールの啓発、都民に向けては更なる啓発と長寿社会を目指す健康づくりに取り組みしていくと宣言した。



（左から）米田コンソーシアム事務局長、垣添会長、小池都知事、尾崎会長、藤井社長

また、イベント主催者である尾崎会長と日本対がん協会の垣添忠生会長の対談では、喫煙率を今後3年以内に10%まで下げることが新たな目標として掲げられた。国民の健康を守るタバコフリー社会の実現を目指し、副流煙による健康被害、医療費の財源問題や超高齢社会を背景に予防と教育の重要性を強調し、フレイルや認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸につながる「タバコ対策は予防の柱」として、今後は医療機関だけでなく企業などと連携した取り組みが必要であると語った。

第2部では、全国健康保険協会東京支部の柴田潤一郎支部長、三菱重工業の北原佳代統括産業医、ジョンソン・エンドジョンソンの岡原伸太郎統括産業医より、各々の立場から、禁煙チャレンジ前の喫煙者への効果的な声かけについて提案があった。最後に、中央内科クリニックの村松弘康院長より、禁煙外来の専門家として禁煙継続のためのヒントと声かけの重要性が示された。

地区医師会長
連絡協議会報告

令和7年6月20日（金）

◎都医からの伝達事項

（1）東京都医師会役員職務分担について

第304回（定時）代議員会において選任された本会役員について、職務分担が決定したので報告した。

（2）令和6年度診療報酬改定が医療機関に与えた影響に関するアンケート調査の実施について

今回の改定が医療機関の現場や経営に及ぼした影響について実情を把握するため、アンケート調査を実施する。多くの会員にご回答いただきたいので、周知についてご協力をお願いした。

（3）「第25回 中医協医療経済実態調査」への協力について

中医協では、医療機関等の医療経営等の実態を明らかにし、次期診療報酬改定の基礎資料とするため、医療経済実態調査を実施する。調査対象医療機関には調査票が発送されているので、回答のご協力をお願いした。

（4）第18回日本在宅薬学会学術大会市民公開講座について

一般社団法人日本在宅薬学会主催の市民公開講座が7月21日（月・祝）に開催されるため情報提供し、周知等ご協力をお願いした。

（5）「TMA医療会議」都民向けパンフレットの配布について

これまでの議論で明らかになった社会保障・医療の課題と解決策を広く周知するため、都民向けパンフレット「東京医療崩壊？」を作成した。今後、各地域で開催される講習会や都民向けイベント等において配布のご協力をお願いした。

（6）令和7年度認知症サポート医地域連携推進事業について

7月28日（月）から10月31日（金）まで、とうきょうオリンピックドクターの申請受付をするので、ご協力をお願いした。

（7）令和7年度地区医師会・区市町村在宅療養担当者連絡会の開催について

東京都在宅医療推進強化事業の地区医師会の活動報告として、7月25日（金）午後2時より担当者連絡会をWEB開催するのでご参加いただきたい。

◎「安否確認サービス2（トヨクモ）」への登録について

7月から「安否確認サービス2（トヨクモ）」へ切り替えることが決定し、地区医師会における災害担当者5名の登録と、地区医師会がトヨクモを安否確認システムとして利用するかどうかについて回答いただいたところである。このたび、災害担当者5名の登録方法と地区医師会がトヨクモを安否確認システムとして利用する場合のユーザーの取りまとめ等について連絡したので、ご対応をお願いした。

◎地区医師会からの報告

- （1）中央ブロック
- （2）城東ブロック
- （3）城西ブロック
- （4）城南ブロック
- （5）城北ブロック

◎出席者による意見交換

- ①第159回日本医師会定例代議員会における代表質問について
- ②今年の秋から冬「新型コロナウイルス」感染症への対策について
- ③区健診施行時における一般診療の再診料の取扱いについて（新宿区医師会）

207

みどりの広場

国家主導型の「地域医療」

令和6年度東京都医師会
医学生懸賞論文プラタナス大賞 優秀賞受賞者
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
初期臨床研修医1年目

青山龍平

シンガポールは、面積や人口規模から、しばしば東京23区・東京都に近いと評されることがある。だが、その医療文化は日本とは全く異質であり、また国家主導の強力な医療政策によって多くの社会課題と対峙しているのが特色である。ここでは、日本の医療を相対化し俯瞰する一助として、いくつかの事例を紹介したい。

シンガポールの医療保険制度は、個人責任、地域互助、政府による間接的援助を原則

としている。医療費の原資は、

積立方式を用いた国民の強制

貯蓄制度であるCPFであ

り、必要に応じて政府の補助

金が投入される形式をとる。

例えば、抗がん剤治療におい

ても、CPFの貯金額と照合

しながら、患者本人が治療

の選択に対して一定の裁量

を持つのは特徴的である。

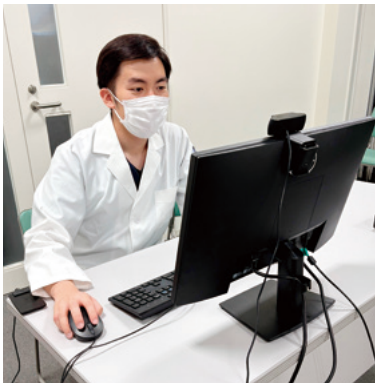
社会問題については、日本

同様、少子高齢化が課題の一

つとなっている。高齢化率は

約20%で、介護問題が深刻化

する中、政府は税負担軽減に



カンファレンスに向けた準備の様子

ることが出来る。処方箋は在宅での受け取りが可能で、慢性経過の患者が来院する負担を減らせるメリットがある。一方で、来院患者に対しては、来院予約・支払・検査結果の払い・検査結果の確認・退院サマリの閲覧機能が同アプリに集約され、高い利便性を誇る。

そして、最も印象的なのは、産官学連携でのエビデンスの創出だ。シンガポールに存在する3つの医学部のうち、Duke-NUSは特異な環境にあり、ほぼ同一敷地内にシンガポール最古の病院SGHとMOH(保健省)が立ち並んでいる。そのため、人材交流が盛

によってインセンティブを与えている。50〜100万円の父母扶養控除を設けるほか、両親の居宅から一定の範囲内で住居を構える場合、その固定資産税の軽減を行うそうだ。

また、コロナ禍では医療DX基盤の整備が進められた。Singpassという個人IDが国民に割り当てられており、病院アプリにログインすることで、オンライン診療を受け

る。X基盤の整備が進められた。Singpassという個人IDが国民に割り当てられており、病院アプリにログインすることで、オンライン診療を受け

る。X基盤の整備が進められた。Singpassという個人IDが国民に割り当てられており、病院アプリにログインすることで、オンライン診療を受け



中国本土・台湾・韓国・香港などでの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、川上一恵理事は、今秋から冬にかけての対策について概説した。高齢者や基礎疾患を抱えた方の重症化リスクに改めて触れ、接種率と公的補助の関係や、ワクチン接種の有効性など多角的に示した。都民

東京都医師会 定例記者会見

6月10日
(火)開催

江戸東京たてもの園

武蔵野の歴史と暮らしを展示

趣味の散歩

武蔵野は、埼玉県川越以南〜東京都府中までの間に広がる地域であり、広義には武蔵国とされ、武蔵野台地一帯を示すが、文学的表現を含めると、諸説が存在する。

小金井市には、野川公園、小金井公園などがあり、自

然が多く、地域の人々にとっての憩いの場として、子ども達のびのびと成長するための環境を提供している。

小金井公園は、80ヘクタールの広大な敷地を有し、その前身は、昭和15年、

年記念事業として計画された、小金井大緑地となる。戦後は、東宮仮御所としても使用され、昭和29年に都市公園として開園された。

公園内には、江戸東京たてもの園があり、東京都江戸東京博物館の分館として、1940年に建設された旧光華殿が移築されて、1993年に開設された。その前身は「武蔵野の歴史と民族」をテーマに、昭和29年の開園とともに設立された、武蔵野郷土館である。関東地

方に所在する遺跡の発掘調査を行い、武蔵野の地で暮らした民俗に関する資料の収集や展示、保存、調査研究を行っていた。

江戸東京たてもの園の入り口は、ビクターセンターとして、1940年に建設された旧光華殿が移築されている。現在、展示室では特別展が開催されており、かば焼き、寿司、てんぷらなどについて、華開く江戸の食文化として紹介されている。展示室外には、文化的価値の高い歴史的建造物が展示され、訪れた人は、江戸・東京の歴史を振り返り、当時の人々の暮らしを感じることができる。

(小金井市医師会宮本 諭)

人生を支えている労働保険の手続きを全力サポート

大切な労働保険の手続きは当会へお任せください

東京労働保険医療協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5
東京都医師会館 4階 TEL 03-5577-2960

東京都医師会基大会のお知らせ

団体戦・個人戦

日時：9月23日(火)
9時30分集合 17時終了予定

会場：日本棋院市ヶ谷本院3階A

参加費：5,000円(昼食込)

主催：東京都医師会基連盟

申込方法：氏名、住所または連絡先、棋力を明示し下記へお申し込みください。

申込先：品川区医師会 櫻井幸弘
Fax：03-3445-1815

締切：8月31日(日)
医師会員でなくても歓迎します

「東京医療崩壊?!」を発行したと報告した。同内容は動画としても作成し、東京都の医療が抱える4つの課題と、医療危機を乗り越えるための7つの対策を紹介した。

ふれあいポスト



各地区会報から

中野区医師会
鶴田晋佑

最近のマイブーム

無趣味な私ですが、最近の二つのマイブームをじまん話として記載したいと思います。

一つ目は、メタクエストというVR (virtual reality) という仮想空間を始めました。VRは単なるゲームとしてだけでなく、様々な分野で開発が進み、非日常を味わえるというものです。私達の医療分野でも活用され、医学教育や手術トレーニング、介護ケアなどで活用が進み、今後も更なる進化が期待できる領域です。

ゴーグルを被った瞬間に私は別人間になり、異世界に入り込みます。最初は使い方が分からず、現実と仮想を混乱し、壁や棚で何度もぶつかりケガをしました。それでも慣れてくると、テニス、卓球、バレー、バスケ、何でも自分がやりたいものが即座にでき、一人でオリンピックをしている気分です。特にボクシングはなぜボクササイズという言葉ができたのか、色々な筋肉を使い大汗をかくのでよくわかります。疲れたら、VRで大画面の映画を見ながら、良質の睡眠も確保できます。とても良い買い物をしたと思っています。

二つ目はLUUPです。最近10代の学生がみんなやっているという緑の電動キックボードを45歳を超えたおじさんが始めました。仕組みは最寄りと目的地のポートを選択し、あとはキックボードのQRコードを読み込むだけです(15分で300円くらいです)。操作は乗り始めの加速だけ覚えれば、あとは自転車と同じ感覚で大丈夫。むしろ自転車より楽で速くて便利になりました。通勤は雨の日以外ほぼLUUPを使用しています。

いわゆる風を切る快適さは、少年時代に戻った感じになります。坂の多いところも快適で、ずっと走りたい気持ちになります。デメリットは、LUUPはタイヤが小さく段差が超えられないことと、乗車中は恥ずかしいので、院長とばれないようにしなければならないことです(院長の通勤イメージは高級車だと思われたい)。皆様も、もし乗られる場合はくれぐれも安全運転をお願い致します。

以上が最近のマイブームです。便利なものを求める中で、日々新たな発明が生まれるものだと思銘を受けています。知らない世界に触れることはハードルがありますが、今後も新たな楽しみを見つけたいと思います。

(「医師会新聞」2024年11月 No.689より抜粋)



ノコギリダイとヨスジフエダイの群れ

品川区医師会 浪川雄一



カワセミ

品川区医師会 田嶋 徹



夏

玉川医師会 大久保正智

医師国保からのお知らせ

特定健診を受けましょう！

～地域医療を支える皆様の健康が地域の元気を創ります～

40歳～74歳の方へ受診券をお送りしています。

健康保持増進のため、是非受診してください。

健診費用は組合が全額負担します。

従業員や家族への自家健診も可能です。

※人間ドック等健診費用の助成申請との併用はできません。

詳しくは当組合ホームページをご覧ください
www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6434 (業務課)

無 声 拝 聴 娘と楽しむ朝ドラ『あんぱん』

最近、小学4年生の娘とNHKの連続テレビ小説（朝ドラ）『あんぱん』を視聴しています。娘にとっては初めてのドラマ体験、私自身も朝ドラを定期的に視聴するのは初めてですが、今では家族で夢中になっています。ドラマの随所に『アンパンマン』へのオマージュが散りばめられており、娘も楽しんで見えています。

『アンパンマン』の主題歌「アンパンマンのマーチ」にある「なんのために生まれてなにをして生きるのか」という歌詞に、作者やなせたかしさん（ドラマの中では柳井嵩）の実体験に基づく深い思いが込められているとは聞いていましたが、このドラマを見るとその意味が理解できます。嵩とその妻となる『のぶ』の、戦前・戦中・戦後という激動の時代を生きていく人々の姿を通して、家族や平和の尊さ、若者の葛藤、そして食べ物や絵がいかに人を勇気づけるかといったテーマが伝わります。娘が登場人物の心情に思いを馳せることも多く、教育の題材としても優れていると感じています。毎回新たな展開があり、次はどうなるのだろうか、親子でハラハラ、ワクワクしながら見えています。

また、嵩の育ての親が医師であるため、私の仕事である医師の仕事や、娘が見ることができるともなっているのも父親として嬉しいポイントです（自転車で往診に行く場面も出てきます。モデルとなった実在の方は、今言う地区医師会長として地域医療に尽力されたようです）。絵を描くことが好きな娘は、嵩が絵や漫画を描くことが好きな点でも共感を覚えているようです。

最近では地上波での時代劇の放送が減り、高齢の方々にとって楽しみが少なくなっているかもしれません。本ドラマは昭和の時代を丁寧に描いており、高齢の方々にとってはご自身の若い頃を懐かしく思い出されるのではないのでしょうか。一方、子どもたちは、慣れ親しんだ『アンパンマン』のルーツに触れることで『あんぱん』の世界に入りやすく、同時に昭和という時代を知るきっかけにもなると思います。世代を超えて楽しめる、素晴らしいドラマで、オススメです。

（木山信明）

アニサキスが引き起こすもう1つの病気
— 見落とされがちな疾患に注意

魚介類の食文化が豊かな日本においては、それに起因する健康被害も少なくない。なかでも、アニサキスによる食中毒（急性胃アニサキス症）は、広く認知されるようになってきている。典型的な経過は、サバやイカの刺身を摂取後、数時間以内に腹痛が出現するものであり、年間発症数は2万人以上に上ると推定されている。

アニサキスが引き起こす疾患は急性胃アニサキス症にとどまらず、魚介類アレルギーの約半数がアニサキスアレルギーによるものである。また、成人のアナフィラキシーの約2割はアニサキスが誘因とされている。急性胃アニサキス症が非致死性であるのに対し、アナフィラキシーは致命的となり得る点で、両者の臨床的意義は大きく異なる。高い発症頻度と重篤性を踏まえると、アニサキス症およびアレルギーは、広く社会に周知されるべき重要な公衆衛生課題である。

アニサキスアレルギーの発症は、通常は抗原暴露から2時間以内に生じるが、半日程度を経て発症する例もあり、時間的な幅がある点が特徴である。摂取した魚介類そのものへのアレルギーとの鑑別には、当該魚介類に対する特異的IgEが陰性であり、かつアニサキス特異的IgE抗体が陽性（クラス3以上）であることが診断の根拠となる。ただし、日本人では抗体陽性率が高いため、実際に症状が出現していることが診断には不可欠である。

予防においては、急性胃アニサキス症が生きた虫体の体内侵入によって発症するのに対し、アレルギーおよびアナフィラキシーは、死んだ虫体や、体内への侵入がなくとも誘発され得る点に留意すべきである。したがって、アニサキスアレルギーが疑われる症例では、加熱や冷凍処理済みの魚介類であっても摂取により症状が誘発される可能性があることを、患者に対して十分に説明し、慎重に対応する必要がある。

（文責：美田敏宏）

感 染 症 豆 知 識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

知っていますか？

リスキリング

リスキリングとは、既存のスキルのアップデートや、全く新しい分野のスキルを習得することを指し、「再スキル化」とも訳される。技術の進化や社会の変化に対応するために、非常に重要であるとされている。医療分野では、AIや自動化技術の進展に伴い、医療従事者が最新技術や患者対応スキルを学び直すことで、効率向上や患者ケアの質を保つ役割を果たしている。

掲 示 板

1200日の闘い
— 東京都医師会・東京都、
コロナ対策の記録

公益社団法人東京都医師会 編



街へ出てみると、今や人々の様子は平和そのものであるが、その「当たり前前の光景」が、ほんの1〜2年前は許されていなかった。コロナ禍の時代の1200日は、日本のみならず世界中で人々が死と向かい合わせで、恐怖に慄いていたのである。これは正に「戦争に匹敵する惨事」であり、1200日という期間は、太平洋戦争にほぼ匹敵する長い期間であった。この書籍は歴史書といっても過言ではない。第二次世界大戦の記録書を見ると、各戦線でのような両軍がぶつかり合ったか克明に記録されているが、この書籍も東京都の各「コロナ戦線」、病院、開業医、介護施設、行政（作戦本部）とのやり取り等各論的に記録され、偽りのない苦難が克明に記録されている。現在私も医療の現場に立っているが、自分の担当科以外はわからないことが多い。この書籍を読み、他科の医療スタッフの気配迫る苦難を、身に染みて理解させられ打ちのめされてしまったのである。後世に残し語りつづけるべき一冊である。

※本書を手ご希望の方は、東京都医師会までご連絡ください

広報学術課 03-33294-8821(代)

地区医師会長からの一言 不易流行

足立区医師会長 有野 亨



令和6年6月29日開催の足立区医師会定時総会並びに臨時理事会にて、第20代足立区医師会会長に僭越ながら就任させていただきました。足立区医師会は令和5年に75周年を迎え、令和7年3月31日現在は、A会員410名、B会員253名、総勢663名の大所帯となっております。

自己紹介

私は足立区の生まれで、今は廃校になった千代田区永田町幼稚園・小学校を経て千代田区立麹町中学校で幼少期を過ごしました。当校は多くの国会議員を輩出しておりますが、直近では前総理大臣の岸田文雄氏も先輩です。東京都立九段高等学校を経て、東京慈恵会医科大学にて医学の基礎を学びましたが、大学卒業後は当時の研修はストレート方式が大半だったため、ローテーション方式である国立西埼玉中央病院にて臨床の基礎を学び、研修後は母校である東京慈恵会医科大学に戻りました。当時、総合内科は青戸病院（現在の慈恵医大葛飾医療センター）の内科学教室のみでしたので、当時の永野允教授のもと、総合内科医のトレーニングを受け、2年間の米国留学の後、大学の診療科別への改変に伴い、循環器内科医として従事させていただきました。

平成13年5月に同僚の土屋昌史とともに足立区島根にて診療所を開設・開業して、平成20年6月より足立区医師会の理事を15年間勤めて参りました。その間、諸先輩理事より医師会運営についてご教示いただき、今後ますます健全な医師会運営に努めて参りたいと考えております。

足立区医師会の取り組み

足立区医師会のモットーは「足立区医師会は区民の健康を守り

ます」です。令和7年4月には足立区の人口は70万人を超え、コロナ禍を除き毎年人口は増えております。増え続ける人口に対して、地域包括ケアシステムをいかに構築するかが課題ですが、令和7年4月21日には足立区江北5丁目に「すこやかプラザあだち」がオープンしました。この施設は医療・介護・健康の拠点として多職種の連携をさらに進めることが期待されており、足立区医師会も多職種連携研修に全面的に協力しております。また東京都からご支援をいただきながら、在宅医療の一環として在宅当番医制度を構築するとともに、在宅訪問診療に取り組む予定の会員に対して「足立区在宅医療塾」を定期的に開催し、今後、増加する在宅訪問診療患者の対策を図っております。さらに予想される災害対策に対しては、足立区とともに総合防災訓練を企画・実践しておりますが、今後は足立区地域防災計画の見直しを早急に進めて参ります。

引き続き特定健診事業並びに特定保健指導事業の充実とともに、低迷する各種がん検診事業の充実に努めます。また増え続ける予防接種事業では、足立区と協力しながら、他区と比較して非常に多い接種数並びに接種率の維持に努めて参ります。

座右の銘

タイトルの「不易流行」は私の座右の銘ですが、伝統を重んじつつ、時代に合わせて変化していくという理念です。足立区医師会の諸先輩が築いた医療体制を守りながら、これからの超高齢化に対する新しい医療体制を構築することが大切だと考えております。

最後になりますが、今後も東京都医師会並びに地区医師会との連携を深めるとともに、引き続き足立区医師会に対してのご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。